

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	MS503	分類	講義科目
授業科目名	カラーコーディネート	英文授業科目名	Color Coordination
年度	2024年度	年次	夜間部 1年 プライダル科
開講学期	後期	授業の方法	講義
単位数	1単位	年間授業時間数	18.2時間
科目区分	専門科目	授業コマ数	13コマ
担当教員名	渡邊 光世	実務経験あり	
経歴	2007年よりカラリストスクール・ワム認定講師 日本カラリスト協会認定講師・色彩診断士・1級パーソナルカラリスト・トータルカラリスト認定講師色彩学会 正会員		

■授業・科目情報

学習目標	ホテル業界(インテリア、料飲会場装飾等)、ブライダル業界(全シーン)における、カラーコーディネートの重要性、関連性に基づき、CUS色相理論・パーソナルカラーの知識を身につけ、クライアントにアドバイスできる力を習得することを目的とする。		
教科書	パーソナルカラリスト検定対策3級テキスト 日本カラリスト協会		
授業計画	回数	内容	
	1	色から今の自分を知る。他者から見た自分の色(印象)を知る。色の特徴やイメージを伝えることができる。	
	2	色彩理論(有彩色・無彩色・三属性)を学び、色の分類と心理効果が見極められる。	
	3	色彩理論(心理補色)意味とその関係にある色を覚える。それを基に表色系が書けるようになる。	
	4	色彩理論(色調)色の成り立ちを学び、それを基に色調図が書けるようになる。	
	5	色彩理論(色記号)色を記号で表すことができる。	
	6	色彩理論(アンダートーン)色番号をアンダートーンで分類でき、調和する配色が選べるようになる。	
	7	パーソナルカラーの起源、診断の流れとポイント(環境)	
	8	パーソナルカラー:各シーズンカラーの人と色の特徴について説明できるようになる。	
	9	各シーズンカラーについてブライダルシーン(ドレス等)の提案ができるようになる。	
	10	各シーズンカラーについてブライダルシーン会場装飾の提案ができるようになる。	
	11	パーソナルカラー診断(デモンストレーション)⇒診断:ドレープが扱えるようになる。	
	12	シーズンカラー分類におけるブライダル提案の製作と発表。	
	13	後期試験	
授業の進め方	写真や画像、プリントを用いた学習に加えて、実習やグループワーク、カラーカードを用いた配色演習等の体験で理解を深めていきます。		
試験の実施方法	後期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。		
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント(合計20ポイント)に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。		
関連科目	『テーブルコーディネート』		
参考書	パーソナルカラリスト検定対策3級テキスト:日本カラリスト協会 プリント(CUSシステム・パーソナルカラー・配色テクニック演習他)/カラーカード		
学生へのメッセージ	色は普段の生活の中で当たり前にあるものですが、私たちの印象や気持ち、行動に影響を与える大きな力を持っています。センスの良い色使いに必要なのは理論と感性。この授業では色の理論を学習し、たくさん色を見ながら感性を磨くことで、ブライダルに限らず様々な場面で応用できるカラーコーディネートの力をつけていきます。パーソナルカラーについても実際のコンサルティング体験を通して理解し、提案できる知識を習得します。		

以上